

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023 年 第 29 週（7 月 17 日～7 月 23 日）

＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	5 人 類型 患者 3 人、 無症状病原体保有者 2 人 血清型 O157 3 人、O26 1 人、 不明 1 人
四類感染症 ライム病	1 人 推定感染地域 北海道
五類感染症 アメーバ赤痢	2 人 病型 腸管アメーバ症 2 人
急性脳炎	1 人 病原体 不明
後天性免疫不全症候群	1 人 病型 無症状病原体保有者
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	1 人
梅毒	5 人 病型 早期顕症Ⅰ期 1 人、 早期顕症Ⅱ期 1 人、 晩期顕症梅毒 1 人、 無症状病原体保有者 2 人
百日咳	4 人 年齢階級 0 歳 1 人、3 歳 1 人、 8 歳 1 人、30 歳代 1 人

＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数(9.54→11.98:図1)は27週以降増加傾向にある。保健所別では、15保健所管内(県内17保健所)で増加し、草加(23.05)、越谷市(19.77)、幸手(18.00)保健所管内からの報告が多い。

＜定点把握対象疾患の患者情報＞

ヘルパンギーナ(8.60→5.68:図2-1,2,3)の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したが、依然として多い状況である。保健所別では、熊谷(18.13)、鴻巣(11.08)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では1歳の報告が最も多い。RSウイルス感染症(2.54→1.95:図3-1,2)の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、多い状況が続いている。保健所別では、南部(8.80)、幸手(4.89)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1歳以下の報告が多く、66%を占めた。手足口病(1.91→1.75:図4)及び咽頭結膜熱(0.62→0.63:図5)の定点当たり報告数は、やや高い水準にあり、注意が必要である。

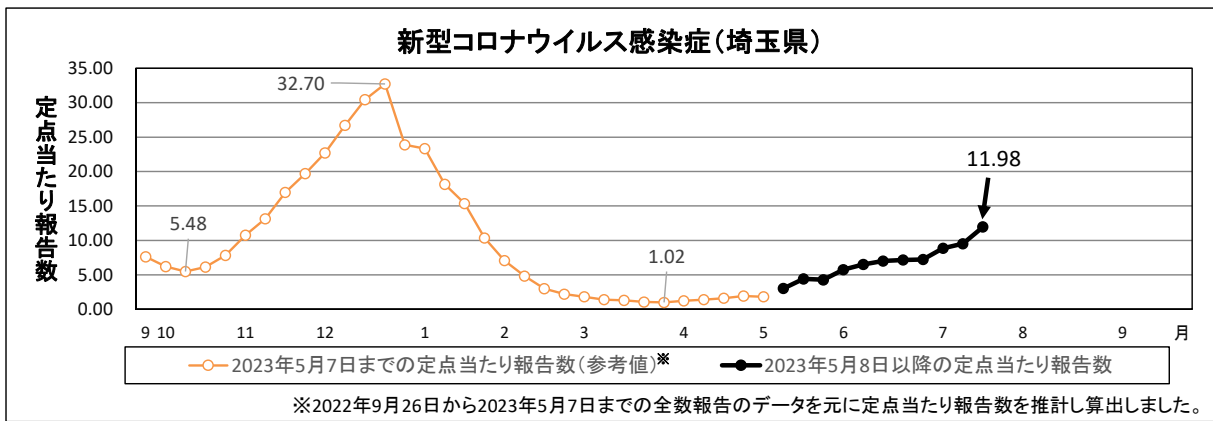
眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎2人、流行性角結膜炎12人の報告があった。基幹定点報告疾患では、インフルエンザ(入院)1人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第29週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2-1 ヘルパンギーナの定点当たり報告数の推移

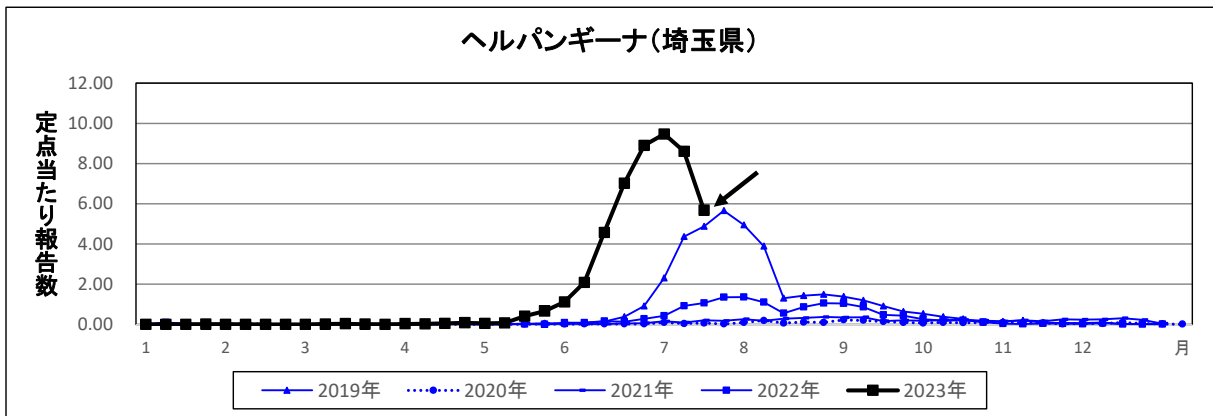


図2-2 ヘルパンギーナの保健所別流行状況の推移（第27週～第29週）

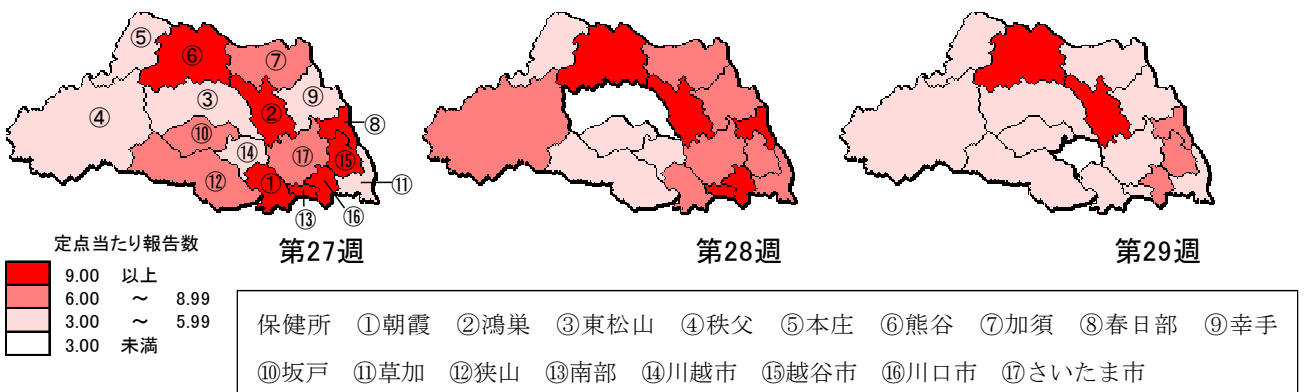


図 2-3 ヘルパンギーナの年齢階級別報告割合の推移

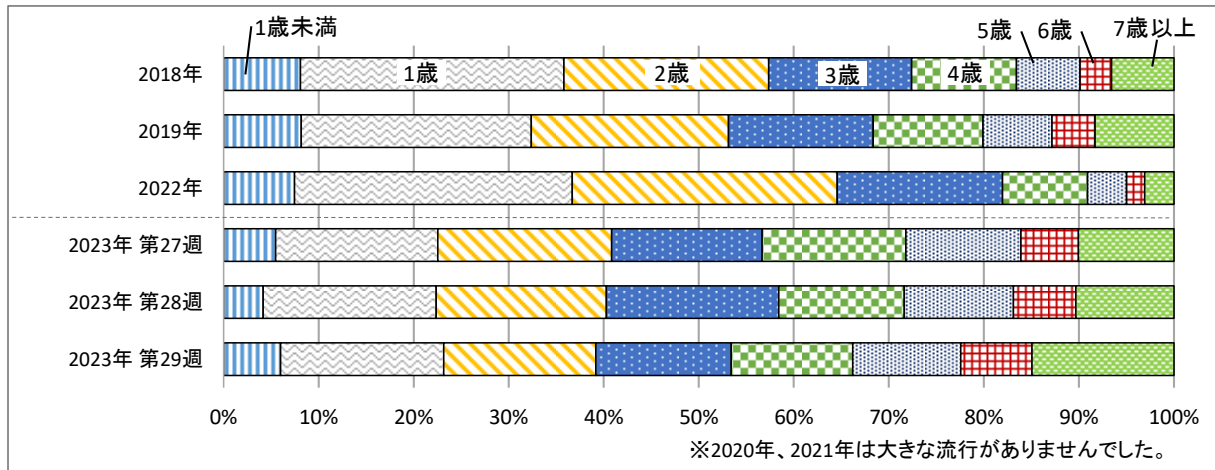


図 3-1 RS ウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

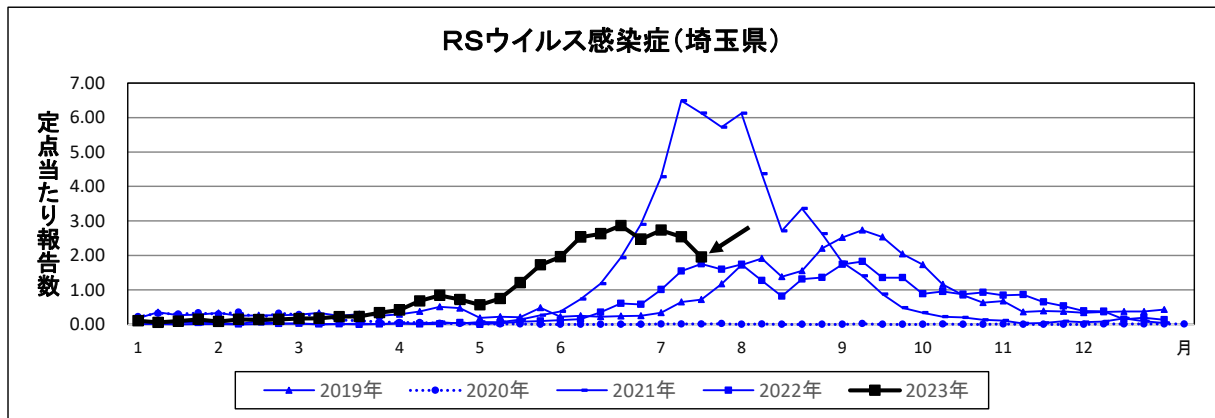


図 3-2 RS ウイルス感染症の保健所別流行状況の推移 (第 27 週～第 29 週)

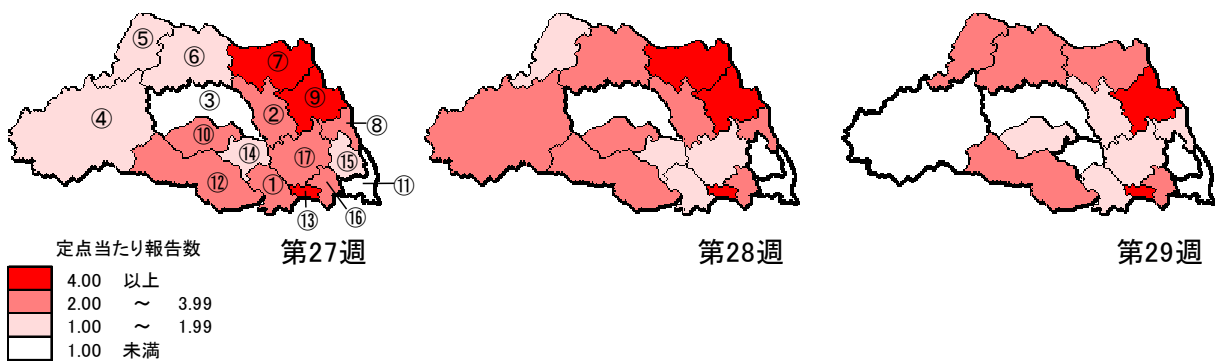


図4 手足口病

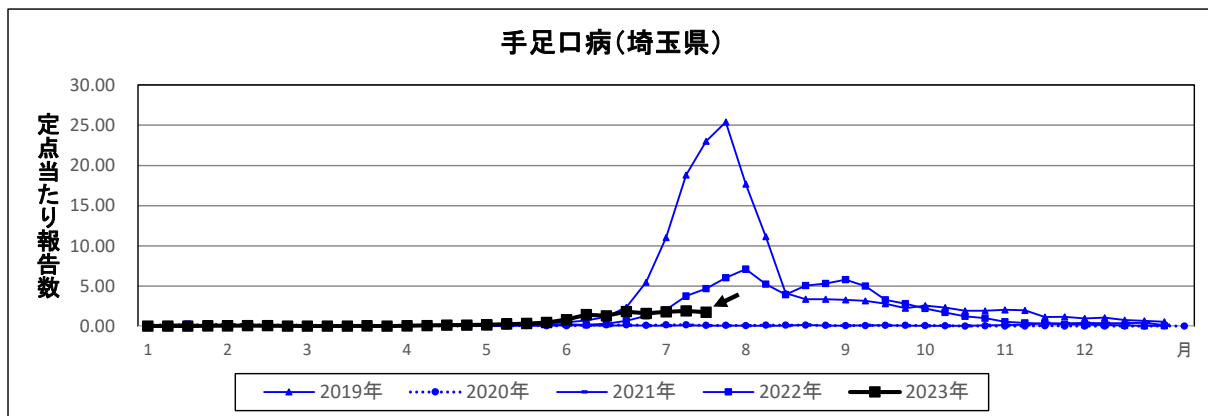
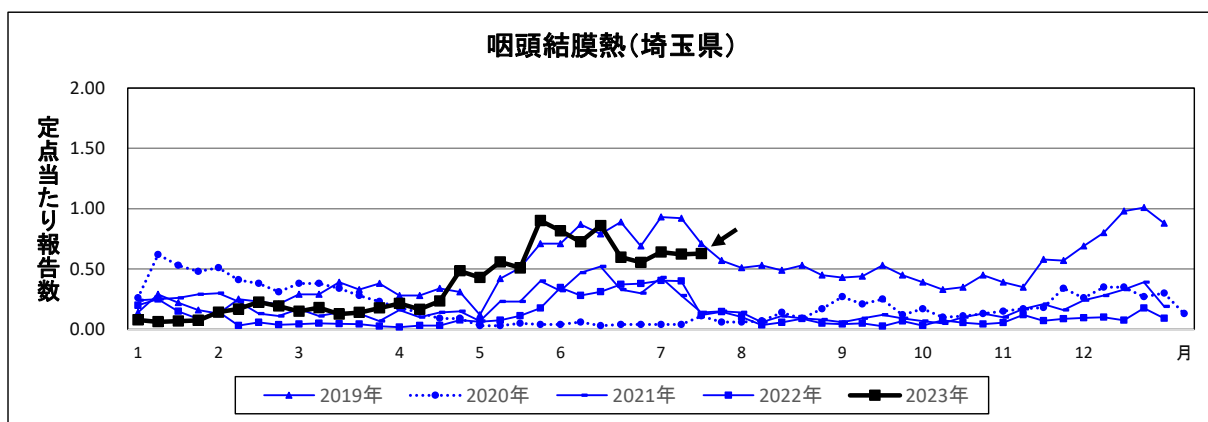


図5 咽頭結膜熱



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第29週)

(2023年7月25日 15:45集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		3	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	5	75			
四類感染症					
E型肝炎		27	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
エムポックス		4	日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病	1	1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症		57
つつが虫病		2	レプトスピラ症		
デング熱		3	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	2	19	侵襲性肺炎球菌感染症	1	40
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)		8
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		33	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		5	梅毒	5	263
急性脳炎	1	23	播種性クリプトкокクス症		4
クリプトスポリジウム症			破傷風		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		5	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群	1	18	百日咳	4	35
ジアルジア症		2	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	7	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第29週

7月17日~7月23日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)
		#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1
全 県	報告数	233	3,126	320	103	246	748	35	287	3	31	932	14	2	12	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.89	11.98	1.95	0.63	1.50	4.56	0.21	1.75	0.02	0.19	5.68	0.09	0.05	0.29	-	-	-	-	-	0.09
朝 霞	報告数	13	235	22	12	20	76	1	23	-	3	61	1	-	2	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.57	10.22	1.47	0.80	1.33	5.07	0.07	1.53	-	0.20	4.07	0.07	-	0.50	-	-	-	-	-	-
鴻 巣	報告数	17	298	21	5	17	55	3	20	-	-	133	-	-	2	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.89	15.68	1.75	0.42	1.42	4.58	0.25	1.67	-	-	11.08	-	-	0.67	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	3	51	4	-	3	19	-	13	-	1	16	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.38	6.38	0.80	-	0.60	3.80	-	2.60	-	0.20	3.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数	-	53	1	2	-	-	-	-	-	1	10	-	*	*	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	10.60	0.33	0.67	-	-	-	-	-	0.33	3.33	-	*	*	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	-	29	14	-	1	-	-	2	-	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	4.14	3.50	-	0.25	-	-	0.50	-	-	5.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数	-	97	20	4	8	26	3	13	-	3	145	-	-	3	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	7.46	2.50	0.50	1.00	3.25	0.38	1.63	-	0.38	18.13	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-
加 須	報告数	1	77	18	4	4	3	-	9	-	1	35	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.10	7.70	3.00	0.67	0.67	0.50	-	1.50	-	0.17	5.83	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
春 日 部	報告数	5	145	8	6	37	98	1	19	-	-	48	1	-	-	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.50	14.50	1.33	1.00	6.17	16.33	0.17	3.17	-	-	8.00	0.17	-	-	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	39	252	44	12	21	12	-	22	-	-	31	-	-	-	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	2.79	18.00	4.89	1.33	2.33	1.33	-	2.44	-	-	3.44	-	-	-	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	16	129	7	3	2	35	-	12	1	1	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	1.60	12.90	1.17	0.50	0.33	5.83	-	2.00	0.17	0.17	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草 加	報告数	12	438	7	18	8	53	1	24	-	1	57	-	-	-	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.63	23.05	0.58	1.50	0.67	4.42	0.08	2.00	-	0.08	4.75	-	-	-	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	46	388	41	12	38	53	1	38	-	5	60	3	2	1	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	1.84	15.52	2.56	0.75	2.38	3.31	0.06	2.38	-	0.31	3.75	0.19	0.40	0.20	-	-	-	-	-	1.00
南 部	報告数	7	115	44	1	10	33	2	7	-	3	19	1	-	-	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.88	14.38	8.80	0.20	2.00	6.60	0.40	1.40	-	0.60	3.80	0.20	-	-	*	*	*	*	*	*
川 越 市	報告数	4	80	5	1	9	15	8	2	-	-	17	2	-	1	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.29	5.71	0.63	0.13	1.13	1.88	1.00	0.25	-	-	2.13	0.25	-	0.50	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	1	257	6	7	1	44	1	15	-	3	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.08	19.77	0.75	0.88	0.13	5.50	0.13	1.88	-	0.38	6.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川 口 市	報告数	47	221	29	6	26	86	10	34	2	4	108	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	2.35	11.05	2.23	0.46	2.00	6.62	0.77	2.62	0.15	0.31	8.31	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-
さいたま市	報告数	22	261	29	10	41	140	4	34	-	5	98	2	-	2	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.51	6.07	1.04	0.36	1.46	5.00	0.14	1.21	-	0.18	3.50	0.07	-	0.22	-	-	-	-	-	-

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

7月 25日

13:00 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第29週

7月17日～7月23日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	233	3	2	4	7	8	10	10	18	30	27	20	45	8	7	7	17	5	4	-	1
新型コロナウイルス感染症	3,126	22	35	52	32	37	27	28	40	49	44	41	338	238	425	318	411	410	241	216	122
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	320	47	65	102	39	40	13	10	3	1	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	103	-	5	14	9	19	24	16	3	8	4	1	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	246	-	3	6	13	20	25	39	29	32	24	12	31	2	10						
感染性胃腸炎	748	10	44	124	73	97	68	73	77	43	34	27	47	4	27						
水痘	35	-	1	1	3	2	1	4	5	5	5	5	2	1	-						
手足口病	287	-	9	62	61	46	41	33	13	6	6	4	3	1	2						
伝染性紅斑	3	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	31	-	7	17	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	932	7	49	160	149	133	119	106	70	51	27	11	26	3	21						
流行性耳下腺炎	14	-	-	1	-	2	1	3	2	1	-	2	2	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	3	3	-	-	1
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第27週 (7月3日～7月9日)

令和5年7月26日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患: インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(27.31)、長崎県(9.13)、宮崎県(8.83)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は72例と前週と比較して増加し、20都道府県から報告があった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(41.67)、鹿児島県(17.18)、宮崎県(16.00)である。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(10.25)、島根県(7.09)、山口県(7.07)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は福岡県(1.19)、兵庫県(1.05)、北海道(0.99)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福岡県(4.04)、鳥取県(3.26)、山口県(3.02)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第23週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は大分県(8.11)、熊本県(7.29)、新潟県(6.31)である。手足口病の定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は島根県(4.96)、茨城県(3.41)、新潟県(2.93)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は静岡県(0.09)、大分県(0.06)、岩手県(0.05)、東京都(0.05)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第19週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮城県(23.20)、岩手県(14.70)、三重県(12.47)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(0.39)、大分県(0.22)、熊本県(0.16)である。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は高知県(0.38)、青森県(0.17)、佐賀県(0.17)、秋田県(0.13)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告は増加した。北海道から1例報告があり、年齢別では1～4歳であった。

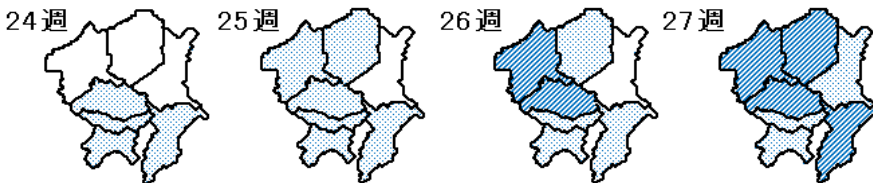
Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第27週(7月3日～7月9日): 通巻第25巻 第27号 より

<関東情報>

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、群馬県(11.65)、埼玉県(9.47)、千葉県(8.80)、栃木県(8.73)からの報告が多い。

ヘルパンギーナ

- 8.50 以上
- 4.20 ～ 8.50
- 4.20 未満



2023年 27週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	8,193	1,301	77	20	11	299	181	507	206
	定点当たり	1.66	0.85	0.64	0.26	0.13	1.15	0.89	1.22	0.56
新型コロナウイルス感染症	報告数	45,108	12,280	948	458	455	2,315	2,243	3,152	2,709
	定点当たり	9.14	8.02	7.90	6.03	5.23	8.87	11.00	7.58	7.38
RSウイルス感染症	報告数	10,613	2,570	159	224	114	448	275	704	646
	定点当たり	3.38	2.67	2.12	4.67	2.11	2.73	2.15	2.70	2.78
咽頭結膜熱	報告数	1,628	438	38	4	43	105	82	92	74
	定点当たり	0.52	0.46	0.51	0.08	0.80	0.64	0.64	0.35	0.32
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	4,809	1,437	125	61	68	342	194	346	301
	定点当たり	1.53	1.49	1.67	1.27	1.26	2.09	1.52	1.33	1.30
感染性胃腸炎	報告数	12,984	4,231	266	69	243	990	633	1,164	866
	定点当たり	4.13	4.40	3.55	1.44	4.50	6.04	4.95	4.46	3.73
水痘	報告数	373	123	16	5	4	38	5	35	20
	定点当たり	0.12	0.13	0.21	0.10	0.07	0.23	0.04	0.13	0.09
手足口病	報告数	3,347	1,114	256	75	31	293	102	207	150
	定点当たり	1.07	1.16	3.41	1.56	0.57	1.79	0.80	0.79	0.65
伝染性紅斑	報告数	57	29	-	-	2	5	4	14	4
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	0.04	0.03	0.03	0.05	0.02
突発性発しん	報告数	874	256	16	18	19	53	19	79	52
	定点当たり	0.28	0.27	0.21	0.38	0.35	0.32	0.15	0.30	0.22
ヘルパンギーナ	報告数	22,980	7,746	330	419	629	1,553	1,126	2,088	1,601
	定点当たり	7.32	8.05	4.40	8.73	11.65	9.47	8.80	8.00	6.90
流行性耳下腺炎	報告数	219	91	5	1	21	17	10	21	16
	定点当たり	0.07	0.09	0.07	0.02	0.39	0.10	0.08	0.08	0.07
急性出血性結膜炎	報告数	7	3	-	-	-	2	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.05	-	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	304	122	25	7	9	12	19	12	38
	定点当たり	0.44	0.59	1.47	0.58	0.64	0.29	0.54	0.31	0.78
細菌性髄膜炎 #2	報告数	4	1	1	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.08	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	21	5	-	-	-	2	1	1	1
	定点当たり	0.04	0.06	-	-	-	0.18	0.11	0.04	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	12	2	1	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.03	0.02	0.08	-	-	-	-	0.04	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--0.00)

2022/2023 シーズンのインフルエンザ

2022/2023 シーズンは 3 シーズンぶりにインフルエンザの流行が確認され、2022 年第 51 週に流行期に入り、2023 年第 10 週に定点当たり報告数 13.29 のピークを迎えました。2023 年 4 月以降、定点当たり報告数は 1～2 前後で推移しており、現在も患者の報告が継続しています。

今シーズン病原体定点で採取された検体から検出されたインフルエンザウイルスは AH3 が 210 件、AH1pdm09 が 14 件、B ビクトリア系統が 15 件で、B 山形系統は検出されませんでした (7 月 24 日現在)。過去のシーズンでは、流行の終期にかけて B 型の検出が増加する傾向にありましたが、2022/2023 シーズンは現在も AH3 が継続的に検出されているのが特徴で、AH3 が流行の中心となったシーズンとなりました (図)。

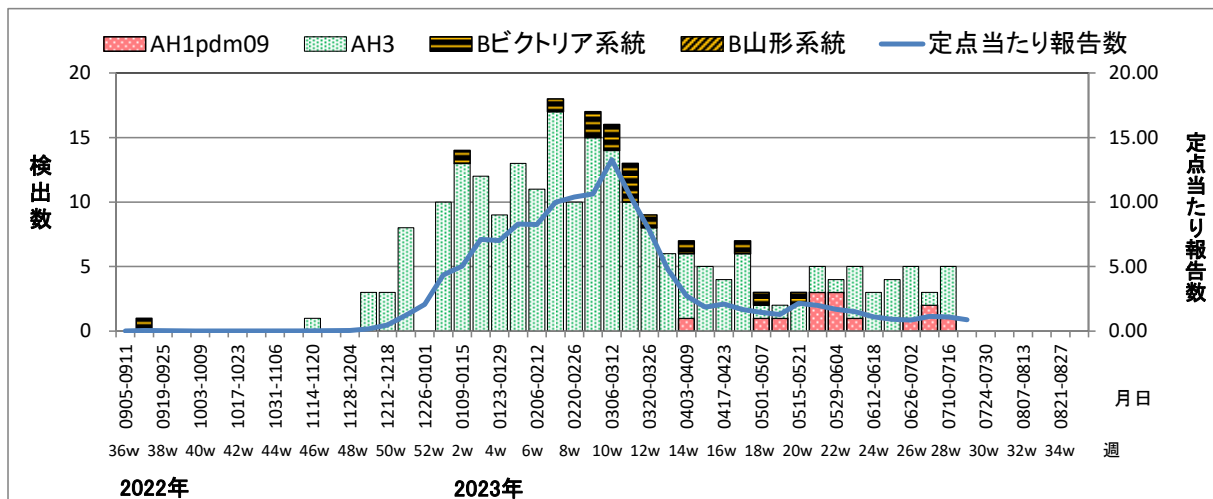


図 インフルエンザの定点当たり報告数とウイルス検出状況

週別、患者年齢階級別のインフルエンザウイルス型別検出数等の詳細は県感染症情報センターのホームページ (<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html>) に最新情報を掲載しています。

病原体定点医療機関の先生方には引き続き検体採取へのご協力をお願いします。

感染症発生動向調査
2023年

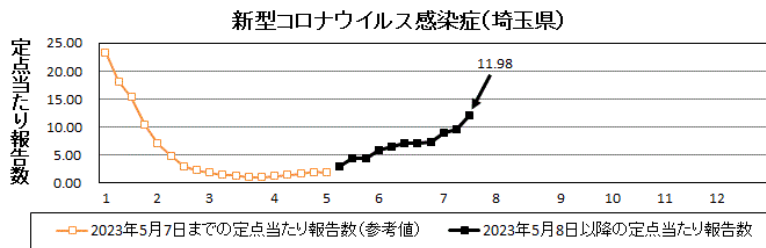
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第1週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第2週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第3週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第4週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第5週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第6週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第7週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第8週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第9週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第10週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第11週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第12週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第13週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第14週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第15週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第16週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第17週](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2022年](#)
- ▶ [感染症発生動向調査 2021年](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第18週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第19週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第20週](#)
- ▶ [感染症の流行状況 2023年 第21週](#)

感染症の流行状況 2023年 第29週

2023年第29週（7月17日～7月23日）の要点 令和5年7月26日

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、前週と比較して増加しました。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★	手足口病	→	★★
新型コロナウイルス感染症	↑	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
RSウイルス感染症	↓	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★★	ヘルパンギーナ	↓	★★★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	↓	★★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン